

研究課題番号	1RF-1904
研究課題名	事業効率化と環境価値創出の両立を目指す排水処理・汚泥資源化システムの再編
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	お茶の水女子大学
研究代表者名	中久保 豊彦

1. 委員の指摘及び提言概要

排水処理・汚泥資源化システム研究としての成果は着実である。河川の水質浄化について、政策の推進効果を予測する結果は、明確で評価できる。洗剤の生態系リスク評価とBODによる水生生物生息環境評価は関係していることから、両者のつながりを示すことが期待される。一方で、システム統合の前に個別技術革新を目指すべきという観点があることも事実である。得られたモデル結果の妥当性を示す検証データの取得が必要だと思われる。現状を想定すると、成果を活用するのは難しいと思われるが、どのように展開するかは視点がある。環境政策や自治体への働きかけはどのようになっているのか。

2. 採点結果

評価ランク：A